

伊勢・三河湾貧酸素情報 (R4-16号)

令和4年10月21日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和4年10月18日から20日に伊勢湾、三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

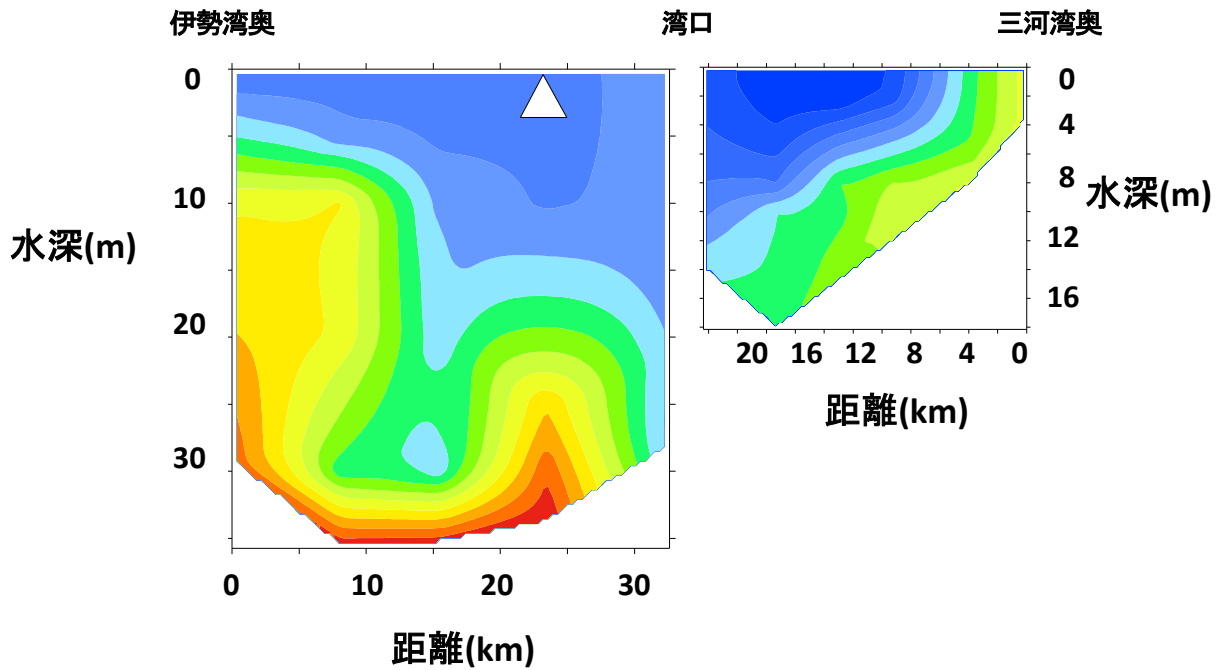
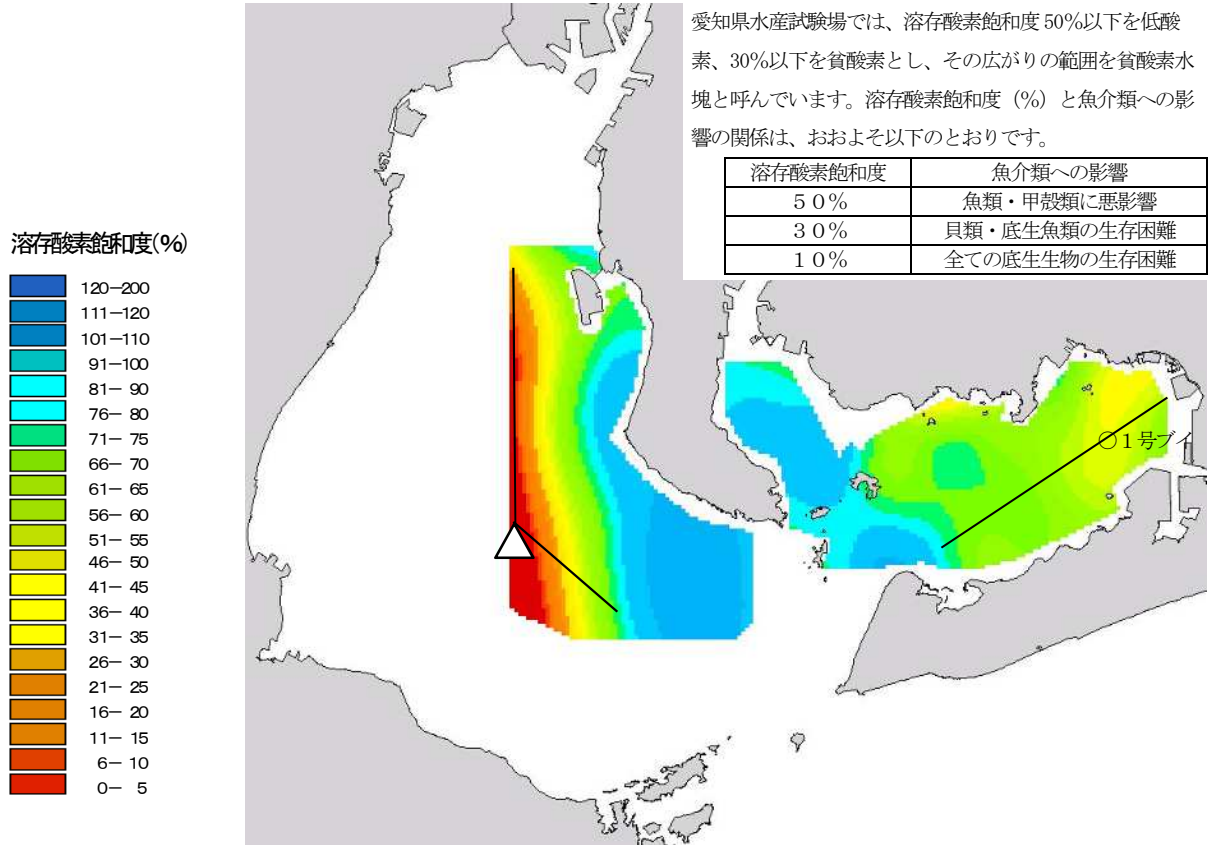


図1 伊勢湾（10月20日）、三河湾（10月18、19日）底層の溶存酸素飽和度の分布（上図）及び上図直線部分の鉛直分布（下図）（愛知県「へいわ」調査）

伊勢湾

10月20日の調査結果を図1に示しました。伊勢湾の湾央で溶存酸素飽和度30%以下の貧酸素水塊が確認されました。

今後は気温の低下に伴い、徐々に表層水温が低下し、鉛直混合が進むことで貧酸素水塊は解消していくと予想されます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	21.9~23.3	28.3~31.0
底層	22.4~24.6	31.0~33.3

三河湾

10月18、19日の調査結果を図1に示しました。渥美湾、知多湾ともに、溶存酸素飽和度30%以下の貧酸素水塊は確認されませんでした。

三河湾海況自動観測ブイ（1号ブイ、蒲郡沖）のデータによると、10月中旬以降、貧酸素水塊は確認されませんでした（図2）。

三河湾においては、ほとんどの調査点で表層水温が底層と比べて低く、密度差が小さくなっていることから、今後、海水の上下混合が進み、貧酸素水塊が発達する可能性は低いと考えられます。

今年度の三河湾の貧酸素情報については今回で終了します。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	21.4~24.0	28.5~31.3
底層	21.4~24.1	29.2~32.6

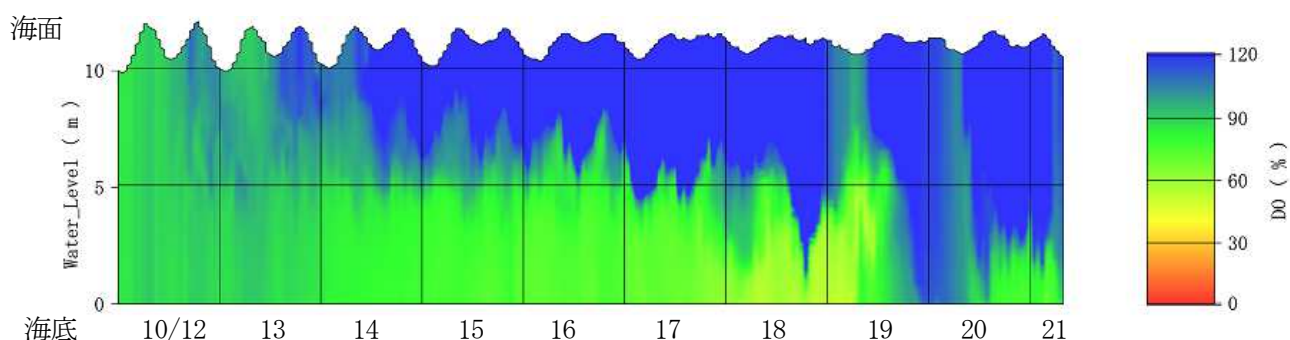


図2 溶存酸素飽和度 (DO) の経時変化 (三河湾海況自動観測ブイ、1号ブイ)

参 考

前回調査時の両湾底層の溶存酸素状況

溶存酸素飽和度(%)

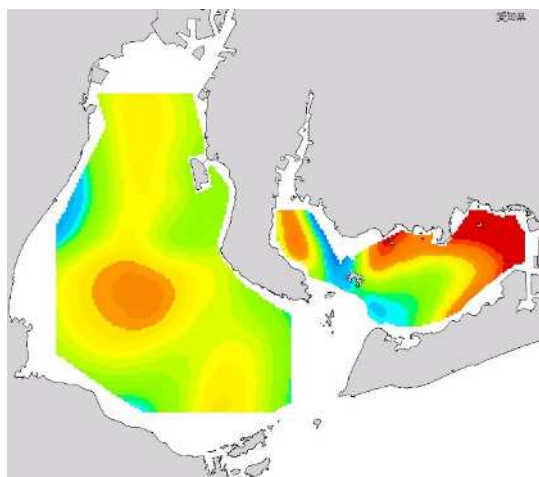
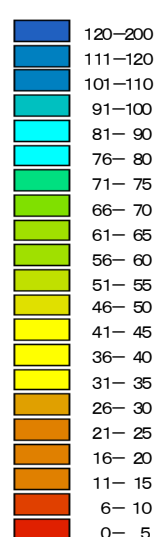


図3 令和4年10月5、6日 (伊勢湾)、10月3、4日 (三河湾)